

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
62	杏林大学	財務会計論	内藤 高雄 総合政策学部 教授	2	春	火	15	10:40~12:10	杏林大学 井の頭キャンパス	若干名

#### 【到達目標】

本講義は会計の認識・測定・報告における判断の基準について、伝統的な会計理論、新しい会計理論を理解することを到達目標としている。

#### 【授業の概要】

財務会計は企業の取引を貨幣金額をもって継続的に記録計算し、その結果を財務諸表という形式で株主や債権者等の、企業の外部の利害関係者に報告する体系である。本講義では会計の処理手続を進める前提となる判断の基盤である、企業会計の理論的基盤を明らかにしていく。

#### 【授業内容】

授業は原則として対面で行う。毎回、穴埋め形式のレジュメ等の講義資料を講義予定日前までに伝える。なお、毎回必ず出席代わりの簡単なミニ課題を講義中のパワーポイントで課すので、定められた期日内に回答すること。また講義への質問は担当教員のメールアドレスまでメールすること。ミニ課題の解答・解説は次回の冒頭で行う。また質問についてはメールで回答するとともに、次回の冒頭で解説する。

第1回：期間損益計算の基礎知識：全体損益計算と期間損益計算、財産法と損益法を学ぶ。[講義・質疑応答]

第2回：2つの会計観：基本目的および貸借対照表の本質・機能についての2つの会計観である静態論と動態論を学ぶ。[講義・質疑応答]

第3回：会計公準と会計主体論：会計公準の意義、史的変遷、現行会計における5つの会計公準の内容、会計主体論を学ぶ。[講義・質疑応答]

第4回：企業会計原則と一般原則：わが国で1948年に制定された企業会計の根本原則である、真実性の原則を中核とした、8つの一般原則について学ぶ。[講義・質疑応答]

第5回：会計上の利益概念：売上総利益、営業利益、経常利益、当期純利益、包括利益の概念を学ぶ。[講義・質疑応答]

第6回：収益費用観と資産負債観：伝統的会計観である収益費用観と新しい会計観である資産負債観を学ぶ。[講義・質疑応答]

第7回：前半まとめ・中間確認テスト：これまでの範囲をまとめ、確認テストを行う。[小テスト・講評]

第8回：会計的認識①：現金主義会計と発生主義会計を学ぶ。[講義・質疑応答]

第9回：会計的認識②：費用の認識；発生主義の原則を学ぶ。[講義・質疑応答]

第10回：会計的認識③：収益の認識；実現主義の原則と費用収益対応の原則を学ぶ。[講義・質疑応答]

第11回：会計的測定①：取得原価主義会計と時価主義会計を学ぶ。[講義・質疑応答]

第12回：会計的測定②：棚卸資産の費用測定を学ぶ。[講義・質疑応答]

第13回：会計的測定③：固定資産の費用測定を学ぶ。[講義・質疑応答]

第14回：会計的測定④：その他の資産の費用測定を学ぶ。[講義・質疑応答]

第15回：会計報告と財務諸表：会計の利害関係者への報告と財務諸表の概要を学ぶ。[講義・質疑応答]

※課題に対するフィードバックの方法：毎回授業の初めに前回の課題についてフィードバックを行う。

#### 【成績評価方法】

平常点(25%)、中間確認テスト(25%) 定期試験の成績(50%)で評価する。

#### 【教科書】

特に指定しない。

#### 【参考書、教材等】

・岩崎勇著『基本財務会計』2020年・税務経理協会、ISBN：978-4-419-06717-5 (4-419-06717-9) ¥2,640

・佐藤 信彦編著『スタンダードテキスト財務会計論Ⅰ〈第14版〉—基本論点編』2021年・中央経済社、ISBN：978-4-502-38961-0、¥5,280

・藤井秀樹著『基入門財務会計第4版』2021年・中央経済社、ISBN：9784502375514、¥3,740

他の参考文献については、講義中に指示する。

※ この授業は、4/11(火)が初回です。